

様式 2

平成25年度 安曇野市食育推進会議（第4回） 会議概要

- 1 審議会名.....安曇野市食育推進会議（第4回）.....
- 2 日 時.....平成26年3月3日 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場.....穂高健康支援センター.....
- 4 出席者.....本郷会長、高橋副会長、中田委員、小室委員、三澤委員、手塚委員、松田委員、
帯刀委員、豊田委員、保高委員、南沢委員
- 5 市側出席者.....太田健康推進課長、高橋課長補佐、竹澤管理栄養士、渡邊保健師、
小松管理栄養士、牧瀬管理栄養士、長田管理栄養士
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人 0人.....記者 0人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成26年3月6日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 協議事項
 - ① 食育推進計画（第2次）（案）パブリックコメント報告
 - ② 食育推進計画（第2次）（案）計画書・概要版
 - ③ 次年度食育推進予定
 - ④ その他
- (4) 閉会

2 審議概要

① 食育推進計画（第2次）（案）パブリックコメント報告

（会 長） それでは、食育推進計画（第2次）（案）パブリックコメント報告の説明をお願いします。

（事務局） 食育推進計画（第2次）（案）パブリックコメント報告の説明

（会 長） 只今の説明に、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

（会 長） 今まで弁当の日というような企画はなかったのですか。

（事務局） ありませんでした。

（会 長） この竹下和男さんというのはどういった方ですか。

（委 員） 竹下和男さんの話を聞いたことがあります。元学校の先生で、自分で発案した子どもたちが自分の弁当を持ってきて、学校で食べるという企画をされています。弁当の日は、いきなり言ってもできることではないので、その準備段階として学校の中で保護者に趣旨を知っていただいて、了解を得て、子どもたちには学校でこんな風にするとう弁当が作れるという教育して、その上で子どもたちが日を決めて弁当を作ってくるっていうのを実際やっています。その時の写真を見せて講演してくださいんですけども、5年生か6年生がそうやってお弁当を持ってくるんですね。1、2、3年生はそれを横目で見ながら同じフロアで食事をしていて、1、2、3年生は給食を普通に食べていて、羨ましそうな顔で見ている横で、上の学年の子どもたちが自分で作ってきたお弁当を誇らしげに食べている写真を見せていただきました。やっていくにはとっても大変なことで、弁当の日だからさあ明日っていうわけにはいかないの、準備過程から含めている方たちのご意見をいただきながら、安曇野市としてやっていけば、子どもたちの自信につながっていくと思います。何より学校とPTAがご苦労することでもありますが、やればやっで子どもたちがすごく自信を持って楽しんでできるかもしれないので、ぜひ十分ご検討してやっていただければいいと思いました。竹下先生は大変人気があって、何年も先まで講演の予定がたまってらっしゃると思います。私は木曾町で3年程前に聞いたのですが、その時も2年待ちくらいだったという風に聞いたような気がしています。ご検討いただければ今子どもの弁当の日って漫画にもなっていてビックコミックかなんかで連載されているので、人気もあって、若い世代の人たちもそういう企画を知っている方もいると思うので、面白いかもしれないなと思いました。

（会 長） ありがとうございます。他にどなたかご意見ありますか。

（委 員） 地産地消は、食育に結びついていきます。地元の食材を使ったお弁当というのは、食育活動の中の凝縮されたものだと思う。それぞれのご家庭でいろいろな工夫はされると思うんですが、往々にして子どもたちはセブンイレブンなんか行けば弁当やおにぎりが手に入ると思いがちなんですけど

も、その過程を子ども自らが手掛けることによってお母さん方の苦勞も分かったり、食の美味しさを実感したり、食べ物に対して理解も深まったりということになりますから、先ほどのご意見もありますし、スタートするにはボーダーラインもあるかと思えますけども、例えば食育の19日という日を設定されているなら、そういう日も使ってどこかの学校で試験的に始める試みがあってもいいのかなと思います。

(会 長) 私、信大で研究会をやっている、3年程前に私共の研究会で安曇野市で3回、親子の食育講座というのを開きました。三郷小学校か中学校に行き、私は簡単にお話ししただけですが、長野県栄養士会の方々に中心になっていただいています。子どもさんたちに家族で出てきていただいてどの程度その後が続いているか分かりませんが、そういった取り組みを市の方でもどんどんやっていただければいいのかなと思います。

(委 員) 食改の方では、親子の食育として年間7回やっています。

(会 長) 皆さんいろんなところで活動をやられているということですね。そういった取り組みをどんどん広げてお弁当が作れるようになればということでしょうね。ありがとうございます。こういった取り組みは来年度の計画に入れていただけたということなので、その内容等また聞かせていただいてアイデアとかご意見をいただければと思います。

② 食育推進計画(第2次)(案)計画書・概要版

(会 長) それでは、食育推進計画(第2次)(案)計画書・概要版の説明をお願いします。

(事務局) 食育推進計画(第2次)(案)計画書の説明

(会 長) 変更のあるところについてご説明いただきました。ご意見ご質問等ありましたら、お願いします。

(委 員) 写真の注釈とかほしいなと思います。まず6ページのイラストは何を言いたいか。

(事務局) こちらは上の文章に関連する絵が載っています。「40歳から74歳までの世代だけのものではなく、親から子へつながっていく可能性が高い習慣」というところで、お父さんがポテトチップスやジュースを飲んでいて子どもにその習慣が伝わって、子どもが将来生活習慣病や肥満につながっていくという絵になっています。

(委 員) そういう注釈はつけられませんか。聞けば分かりますが。

(事務局) 絵の下に注釈をつけたいと思います。

(委 員) 11ページの「中学生の朝食摂取と学力調査」の表は点数ではないですか。

(事務局) 点数ですね。調べ直します。ありがとうございます。

(委 員) 14ページ、これ大好きな図ですけど、カラーにはなりませんか。

(事務局) 今は白黒のものを見ていただいているのですが、正式なものはカラーにしたいと思います。

(委 員) 16ページの写真、これは歯磨きをしているシーンというのは分かりませんが、何年生で何をしているのかという注釈があるといいですね。それぞれの写真にも入れていただいて。

(事務局) 分かりました。

(委 員) 24ページの目標「食べる機能が健全に発達する子どもの割合を増やす。」というので、前の1番最初の資料では「食べる機能を健全に発達させる。」とありました。どっちがいいのかなと思いましたが、どうですか。

(事務局) 上の表現に合わせて「子どもの割合」にしました。

(委 員) 「食べる機能を健全に発達させる。」の方が、割合という入らない子がいていいのかって目標ですから。皆さんのご意見が聞ければいいなと思います。こぼれちゃう子たちがいるような気がしないでもない。

(会 長) 表現の問題、もう1度検討してください。

(事務局) 検討します。

(会 長) 33ページの高齢期のところ、今までは後期高齢期75歳以上というのを65歳以上と変更したということですが、65歳と75歳とはだいぶ差があるような気がします。そこを一律に一括してしまうのではなく、分けた方がいいのではないかという気がします。一括にした理由というのはどういうところにありますか。

(事務局) 32ページのところに壮年期と前期高齢期という形で書いてあります。それと(8)が高齢期ということで、65歳から74歳の方がどちらにもかぶってくるイメージです。壮年期のところでは1番問題になるのは、生活習慣病のこと、特にメタボを中心とした対策を、特定健診の対象者でもあるということで、主にここを目標にしています。75歳以上というのはどちらかというところむしろ低栄養とか介護予防というイメージが強いので、うちの方で75歳以上ということで当初お出ししましたが、高齢者介護課の方からそうはいつでも65歳を超えてくると介護予防の観点から必要な方が出てきて、そういった対策をしていること、この時期でもメタボの対策が必要な方がいらっしゃるんですが、逆に低栄養の方たちの対策と2段に分かれているというあたりで2つに分けてもらってはどうかということですね。その人によっては(8)に該当する方もいらっしゃるれば、(7)に該当する方もいるのかなというあたりで、ここだけが個人差が大きいということでかぶる形で書いてはどうかと事務局の方から話が出ています。

(会 長) (7)と(8)が重なってくるということですね。個人によっていろいろな指導の方法が変わってくる可能性があるということですね。33ページの目標値ですが、かなりまわりくどい表現で書いてありますが、「BMI20以下の高齢者の割合の増加の抑制」ということは要するに20以下の方を少なくす

るという風にしてもらえばいいような気がします。

(事務局) 高齢者介護課の方でも検討してこの文章どうしようかとすごく悩まれたところですが、現状はすごい勢いで増えているというのが事実のようです。それを減らすというのは非常に難しいので、増えるけど、増える割合を減らしていきたいという目標だったので、こういう書き方に事務局はなってしまいました。ただ現状より減らすことはやはり難しい。多分この勢いでいくともっと増えるのを緩やかにもっていきたい。本当は現状維持がいいのですが、それも今の感じでは困難ではないかというところがあってそのような目標になっています。もっと分かりやすい文章表現があればお願いします。

(会 長) 増えてもしようがないけども3%程度の増加にしようということですね。

(委 員) 年齢75歳を65歳にただけで内容的には75歳以上のことが書いてあると思ったのですが、そうするとかなり矛盾が出てくるのではないかな。65歳以上の世代っていうのは、人数的にも結構多い団塊の世代が入っていますよね。その多くの人数が本当に低栄養傾向になっているのかどうか。ショックを受けましたが、そうなのですか。

(事務局) 65歳以上は25%になってきていますから、それで考えれば対象者の人数はとても多いです。高齢期でも75歳以上であれば(8)に入ってくると思います。ところが今言った65歳から74歳というのが、非常に個人差が大きくて(8)に入ってくるタイプの方と(7)の対策に入ってくるタイプが分かれてくるイメージです。子どもの頃より高齢期になればなる程個人差に開きが入ってきて、我々も75歳以上にしたいと言いましたが、高齢者介護課では65歳からこういう方がおられて、こういった方たちを対象とした教室もやっていて、問題にしていることなのかぶついています。75歳以上は間違いなく(8)でいいと思います。ただ今言ったように前期高齢者のごく一部の方たちだけかもしれないけど、(8)に入ってくる既に介護という視点で捉えなければならない人たちがいるということなんです。前期高齢者がものすごく(8)に入ってくるということではなくて高齢者でくるむとすごく大きい人数なので、割合は増えてきてしまいます。

(委 員) 65歳から74歳の間の人たちもやせの割合についてこの数値ですか。

(事務局) 前期高齢者に限ってということですね。そこら辺は高齢者介護課の方でたぶん調べてありますので、確認をします。年代できちんと発生率をみているかどうかというところで、ひっくるめるとこういう数値になるということだと思います。ただ、考えられることは年齢が上がる程可能性は高くなるかなという感じはしますが、実際の数は確認してみたいと思います。

(会 長) 私もさっき気になったのは、全部ひっくるめるとならされた数値になってしまうので、そこら辺を調べていただいて、65歳から74歳の人でも多ければ予防対策的になるかと思しますので、お願いします。5ページに安曇野市の県内での状況というのが出ていますが、これはメタボが2番目に多いということですかね。血圧なんかも高い。中性脂肪なんか1位ということで19市のかかなり上の方にいます。真ん中より上のものが多いような気がしますけども、平成23年度の結果ということですか。今後結果が求められるというか、来年度以降はこの数値を下の方へもっていきけるようにしないとイケない。いろんなことを私も考えますが、長野県は長寿1位ですけども健康長寿という面でもまだかなり下の方ですね。青森県なんか日本で1番下だっていいです。私共と同じように医学部があるのですが、何をしているのかなんて考えないわけでもないわけで、見ると喫煙率が1番とか、ガンで死亡がトップとか、医療関係の人、福祉、栄養関係全ての人が頑張っていると思いますが、結果に出てこないことには総合的に最終的にデータが1つの結果ですけども寿命とかに出てくるはずなので、せっかく頑張っておられるのでこういったところも到達目標に出していただいて最終的には健康寿命かなと思います。そこら辺もぜひご検討いただければと思います。

(事務局) うちも悪いところをとにかく出してみました。うちはLDLだけは県でも1番下くらいです。が、中性脂肪、糖の関係、やはり食のことがあると思いますが、関連したこの辺りが高い率を占めております。そのためにちょっと肥満があると間違いなくリスクをもっているということでメタボリックの該当者がものすごく増えてしまうというあたりを非常に問題として捉えておまして、糖の問題はここ数年やっていただいぶ下がってきてはいますが、ただやっぱり血圧の高い方はまだ多い。それから中性脂肪の方はそれに関連してなかなか減ってこないこともあって、ここは目標ということがありました。もっと減らしていかないとうちの場合は透析が増えていきますので、そこら辺を健康づくり計画の方で目標にしているところですけども、やっていきたいと考えています。

(会 長) 安曇野市の喫煙率は分かりますか。

(事務局) 喫煙は大事なものではありませんが、うちがまだ喫煙に対してものすごく前向きに取り組んでいるかというところという状況じゃないとこがあり、健診に来られる方の喫煙率をみていますので、わりと前向きな方というかきちんとした方たちが多く分だけ他より高く見えるのですが、実際一般の方は難しいというのと、妊娠中の喫煙を調べると何%か出てきますが、産科の先生に言わせると実際はもっと高いのではないかと、その辺の難しさがあって具体的な数字は今ご本人の申告でとってはいますが、やはりアンケートでとった結果と健診での聞き取りはちょっといい値になってしまい、それが現実かどうかというところが捉えにくいところかなと思います。

(会 長) 選考のいろんなファクター要素があると思いますが、喫煙なんかかなり重要じゃないかと思いますが。松本市では受動喫煙対策防止協議会というのができて県で初めてだと思っていますが、受動喫煙の防止の試みをしてまして駅前を全面禁煙にしました。私も何回もティッシュ配りをしました。次は観

光地の上高地辺りを禁煙にしていこうかなと、安曇野市なんか非常に素晴らしい自然環境の場所がたくさんあって、観光客の方がたくさんお見えになっていると思うので、そういう方に対してのアピールというかそういったことも取り組んでぜひ市を上げて考えていただければと思います。長野県では、松本市だけしかそういう取り組みをやっていないといいます。長野県として、健康寿命とかいふようなことを行っている割にはそういったこと取り組んでないところが多いみたいなので、青森県の例を見ますと喫煙率と寿命は関連しそうですね、ぜひそういったことを市全体として取り組んでいただけるように今後していっていただければと思います。今後の課題だと思いますけども。

(委員) 10ページに「朝食を食べない方が多い小中学生の割合の推移」と「朝食を食べない理由」について考察してあり、「時間がない」「おなかがすいていない」がほとんどであり、生活リズムと深い関係があると書いてあるが、これだけで他にはないのか。これを施策に移していく時にそれがしっかりしてないとただ朝食を食べましょうと皆で楽しく食べましょうという話に終わりそうに思う。

(事務局) この調査は食生活アンケートとあって学校給食栄養士が調査したのですが、選択項目があって、その中で最も多かったのは「時間がない」「おなかがすいていない」でした。他の理由があるかもしれないませんが、調査の中ではそれしか分からなかったというところです。

(委員) 私の意見ですが、これからますます女性も働くようになってきていますよね。1日中そうだと思うけれど、忙しいわけですよね。でこちらがそれについてこうやってやった方がいいという資料を流しても、それを読む時間も多分ないだろうと思う。これからますます朝だけじゃなくて昼もお店にあるものを買ってきて、楽ならいいと朝も牛乳に何かをかけて、お父さんも忙しいからもうちょっと寝たいから朝飯を食べないということもあるかもしれない。もしかしたらお母さんも作れない忙しさがあるとすると、私の意見では、もっと男性が援助する、爺さん、婆さんが援助する、そういう風にしてほしい。暇で困っている爺さんはやればいいし、爺さんと婆さんが仲良くなるかもしれない。家族の人間関係が良くなってくる気がする。今はまだ施策のことについては出ていないけど、結局これいろいろ研究していったらこうですよ、こうしていった方がいいっていうことは出るけれど、変わってかなきゃしょうがないですよ。ただまとめて冊子を作ってそれを配ったところで関心のある人は読むけれども、そうでない人は相変わらずだと、ますますこれから忙しくなっていくということでちょっと心配です。

(会長) ありがとうございます。他にご意見とかありますか。

(委員) 32ページに「肥満者の割合の減少」っていうことで40～60歳代男性の現状値は24.8%ということですが、何の現状値でしょうか。

(事務局) BMI25以上の方が24.8%いるということですよ。BMI25以上と書かせていただきます。

(委員) もうちょっと付けたしてもらいたいのは、私は今80歳ですけども、どっちなか亡くなるっていう、特にごはんを作っている女性が先に亡くなっちゃうこともありますよね。男は困りますよね、作れない人は。てことがあるのでぜひ男もできるようにしろとの方が夫婦仲良くなるだろうし、張り合いもあるし、栄養面だけじゃなくて生活面でもっと男も頑張る。退職すればいい暇になってきて、「きょうよう」は必要だっていう。「きょう」という字は何か。今日はどこ行くか、買物行くか。うんと大事だと思う。ぜひそういう生活面も加えていただきたい。

(会長) 現状値と目標値というのを何の現状値なのか、何の目標値なのかというのをもう1度見ていただいて、正しく理解できるような形に変えるところがあればお願いしたいと思います。

(委員) 農協の方、商工会の方がみえているので、私もご飯を作っているからレシピがほしい。だから例えば農協関係の人だったら地場産で作ったこんな献立があるよといえば、農協行くと献立作ってありますよね。ああいうのいただくとありがたいし、商工会だってこういうメニューを作るとこういう物買って行けばいいということがあるとお互いに私も都合いいし、消費者も都合いいし、売る方もそういうことで仕入れていくとかそういうことやってらって思ったりします。

(委員) それに関して、こないだ柏原地区で男性のための料理教室というのをやりました。10何人相手に魚のさばき方といわしのつみれ、前には私がステーキを焼いたりしました。ということで取り組んでいる地区もあるので、言っていただければ調理師会、商工会も含めまして講師の派遣とか講習会の企画はいくらでも協力はします。

(委員) 食改さんがよくやってくさるから、食改さんと調理師会と一緒にやれば一番いいんですけどね。どうしても私たちは栄養が割と高い、美味しくって調理になる。今流行りの野菜とか地元の地産地消のところでもやっていますが、余分なものもやるんですね。成長期には良くて、もう私たちはたくさん食べない方が本当はいいだろうけど。習慣ってというのは、アルコールもタバコもなかなかやめられない。もうちょっと分かりやすく書いた方が一般市民に回るんですよ。難しい言い方、お役所言葉をなるべくなくすといい。食べるってことですから、難しく書かないでなるべく、小学校の子どもにもでも分かるようにやっていただければと思う。

(事務局) 一般の市民の方には、概要版を各戸配布したいと思っています。

(会長) できるだけ分かりやすく、理解に苦しむような表現をするとどっちだかよく分からなくなってくるというようなことなのかなと思います。

(委員) その気にさせるというのはとても難しい。これは施策面にこれを付して学校、保育園にやってくれていっていいけれど難しいですよ。こういう結果が出たからこれで頑張るってやりなさいって言ったって

担当は雲をつかむような話ですよ。やれって言えば何かやりますけどもPTAでやるとしたら、こうやってやりなさいって話になっちゃいますよね。そんなの聞いたってやる気にはなかなかないと思うんですよ。だから体験談っていうのかな、例えば広報するなら男子厨房に入るべしと募集して1等の人には何かくれるとか、それは冗談ですけどもなんかそんなようなのを連載していくとか私いくらでも書きますし。保育園とか研究しているところありますよね。食育実践の資料を買う予算とかそういうのを付けてくださるのかな。図書館にもありますよ。そういう資料。だけど担当の方はたして図書館行ってその資料を見るか、具体的にはインターネットでいっぱい出てきますよ。そういうの紹介していただいてどんな風にしたら各学校、各園が取り組めるかっていうことを親切に援助していただきたいと思います。ただここにこういうようなことで載っているだけでは難しい。

(委員) 目標の中で学童期から「健康な口を保ち、よく噛んで食べられる者の割合を増やす。」っていうのが、青少年期、青年期、壮年期・前期高齢期も書いてありますが、高齢期に「しっかり噛める者の割合を増やす。」って書いてあります。清潔な口内を保つってすごく必要なことですよ。健康なのか清潔なのかよく分からないけど、どうしてその文章を高齢期だけ抜いたのか。歯科の目標っていても歯がなくなってきて入れ歯になるならきれいな口の中の状態であるってことが大切なわけですよ。しっかり噛めるっていても歯はどんどんなくなっていき、現状として、ちょっと違う書き方があるんじゃないかなと思いましたが、どうでしょう。

(委員) 今歯科保健条例っていうのを作ってまして、そこでもあがっていますが、高齢者になるとしっかり噛めない、歯がなくなって噛めないって風になってきます。しっかり噛めない人たちの数を増やさない。しっかり噛めるような状態に持っていきけるようになるっていうのが、大きい目標になっているわけです。ただ健康な口っていうのは大前提ですから入れといていただいてもいいと思います。しっかり噛める者の割合を増やすっていうのは県の目標でもあります。県の方からもこういう表現が出てきていて、高齢者になっても食べる義歯を使ってでもなんでもいいのでしっかり噛める人たちの数を増やしましょうというのが目標です。私は歯がなくても噛めるっていうお年寄り結構いらっしやってどういう状況がしっかり噛める状況かっていうと個人差があるというか、例えば検診に来ていらっしやる方っていうのは意識の高い方ですよ。そういう方たちのところからこういう調査をするしか方法がないので、目標値の持っていく方が難しいですけど。目標値を設定する時に何を調べてその結果から持っていくかっていう風になります。対象が難しくなっています、大きくしっかり噛める者が多くなったらいいですねっていうことです。

(会長) その辺も検討していただくということでお願いします。

③ 次年度食育推進予定

(委員) それでは、次年度食育推進予定の説明をお願いします。

(事務局) 食育推進計画(第2次)(案)概要版、次年度食育推進予定の説明

(会長) たくさんご説明いただきましたけども、只今のご報告につきまして、ご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

(委員) 希望ですけど、自分でご飯を作って食べるっていうようなことがどこかに入るといい。先駆けて小さいことはお手伝い。小中学生が自分で簡単な料理ができるというようなこともぜひ入れていただければと思います。

(会長) 今の子どもの頃からっていう弁当の話ですが、親子の料理教室というのも書いてありますが、こういったものをさらに進めていただければと思います。

(委員) 学校開放講座ってありますけど、生涯学習課の方でも公民館等と連携していただければいいなと思います。公民館長会でそういう話をしていただければと思います。

(委員) 概要版のことですけども、上のグラフですが、安曇野市の統計結果なのか県の統計結果なのか。

(事務局) 安曇野市のものです。

(会長) 安曇野市の結果というのを入れた方が分かりやすいですかね。

(会長) たくさんあるわけですけども、この中で特に重点的というようなものはありますか。

(事務局) 1番は生活習慣病予防を考えています。事業はいろいろに跨りますが、乳幼児健診で行う個別指導ですとか、学校教育課で行っている保健指導でも生活習慣病予防の取り組みはできます。そんな風に考えています。

(会長) そういったのをね、1番初めでもいいし、どこかに重点的な取り組みはこれだと、そういったことが各ライフステージに入っていると分かると、たくさん書いてあるので、つつい個別などに目が行きそうですけども、全体像をどこかで一言二言入れといていただくとありがたいと思います。

(委員) 概要版ですが、各種団体って分からない人たくさんいます。栄養士会とか調理師会とか食改とか入れると分かるような気がする。農業団体と各種団体は何だか分からない人があると思う。

(会長) その辺またご検討お願いします。平成26年度も続けて生活習慣病予防を中心として様々な取り組みを行う予定であるということでお願いします。

④ その他

(会長) それでは、その他についてお願いします。

(事務局) 第9回食育推進全国大会への出展についての説明

(会長) 6月21日(土)、22日(日)長野市ということですが、全国に向けてブースを設けて、展示をさせていただけるということで、いろいろアピールもできるということですが、折角の機会ですが。

- (委員) 安曇野調理師会では、毎年10月頃小学5、6年生を対象に、10年程前からフランスで始まった味覚の授業というのをやっています。たまたま長野のメトロポリタンにいる者が掘金出身で、ご紹介で味覚の一週間を始めました。味の基本、五感で味わうとか、最終的にラタトゥーユを作って、皆で食事をするっていうことをやっています。昨年県の食育大会が明科であった時に1回展示していますが、市ではないのでいくらでも協力できます。
- (委員) JAあづみですが、食育に関わる部署が複数に分かれています。JAとして取り組んでいる内容を少し写真もありますので、それにメッセージをそえて、ふれあい農園的な収穫体験を食育に結びつくような取り組みを整理した中で出せればと思います。また意図が違ったりするといけないので打ち合わせをお願いします。
- (会長) いくつかおありのようですから、また事務局とご相談いただいて出展していただくということでもよろしいですかね。この機会を利用していただいてまたいろいろなところでアピールしていただければと思います。出展料が書いてありますが、料金徴収しなければ無料ということでもいいですか。
- (委員) 物資を販売したりすると5万円かかりますが、そうじゃなければ無料です。
- (委員) 試食やなんかはやってもいいわけですか。
- (委員) やってもいいですが、水道とか火とか電気の容量が規定されているので、やり方は工夫しないと難しいと思います。電気もワット数が小さくて実は保健所の栄養士部会でも出そうと思って電磁調理器を使おうと思ったら難しいかなという感じがあるので、持ち込んで衛生的にやれば良いと思います。
- (委員) そこで袋やタッパーから出して配ることは可能ですか。
- (委員) 火をたいてそこで料理することは難しそうです。実際会場の方と打ち合わせをしている人の話では、匂いも出るので難しいかもしれません。水場があまり確保できなくてそれも大変そうです。体験コーナーは大歓迎と企画の方でやっていたようなので、簡単に体験できるような安曇野市らしいものがあればいいのかなと思います。
- (委員) 商工会でたまねぎの料理開発だったり、信州サーモンも地元だったり、今野菜スイーツということで昨年はわさびを使ったスイーツ、そういうできた商品をカットして配るという位は可能なのか、無料で食べていただき、安曇野市の宣伝、安曇野市はこういう風にやっていますっていう部分でもいいのか。そういう話をお聞きしてつめて協力はできるかと思います。
- (委員) やるなら前もって言っていただければ何人か。ラタトゥーユはちょっと無理かもしれない。そこで作るということは無理かもしれない。あと本当はダシなんか出せば1番いいけど、作ってくわけにいかないだろうな。
- (委員) 味覚で「甘い」「しょっぱい」「にがい」「からい」「うまみ」っていう日本のダシっていうのが、昨年日本が世界文化遺産に登録された部分で、ダシを作ったり、使って、授業で生徒さん達に教えているんですけど、そういうダシ汁も作って飲んでもらうとか、作っていつて試食はできるかということもいろいろ選択肢はあると思うんですけども。
- (委員) 多分県の調理師会にも声が掛かっていると思うので、被らないようにした方がいいと思います。
- (委員) そこも調整した方がいい。同じことをやってもいけないから。
- (委員) 土曜日曜なので皆行くのを嫌がるんですよ。土曜日曜は仕事が忙しいのでね。
- (委員) パネルを展示するだけならね。
- (委員) ひとり4月以降暇になる人がいますんで、その人をやるようにします。
- (委員) それではいろんな方に協力いただけるということなので、よく内容について打ち合わせをしていただいて、そこで安曇野市らしい出展になるようにしていただければと思います。よろしくお願いたします。
- (会長) 全般を通じまして、ご意見ご質問等ありましたら、お願いします。よろしければこれで終わります。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。